

10 「SDGs」・「協働・協創」

(1) SDGsの認知状況

(2) 区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

(3) 家族以外の人や地域と関わる自主的な取り組み・活動意向

(1) SDGsの認知状況

問41 あなたは、SDGsについて知っていますか（〇は1つだけ）。

※ 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

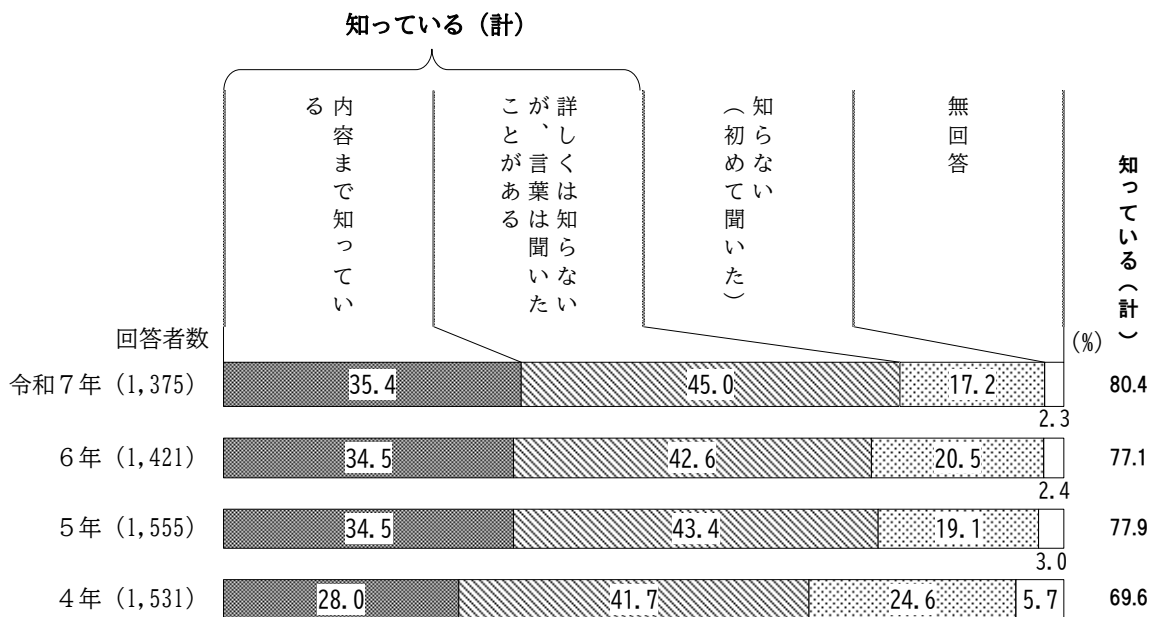
■【知っている】は前回から3.3ポイント増加し8割

ア 単純集計・経年比較／「SDGs」の認知状況

(ア)「SDGs」について「内容まで知っている」が35.4%で、これに「詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある」（45.0%）を合わせた【知っている】は80.4%となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は17.2%となっている。

(イ) 前回調査との比較では、【知っている】が3.3ポイント増加し、「知らない（初めて聞いた）」が3.3ポイントの減少となっている。

図 10-1-1 経年比較／「SDGs」の認知状況

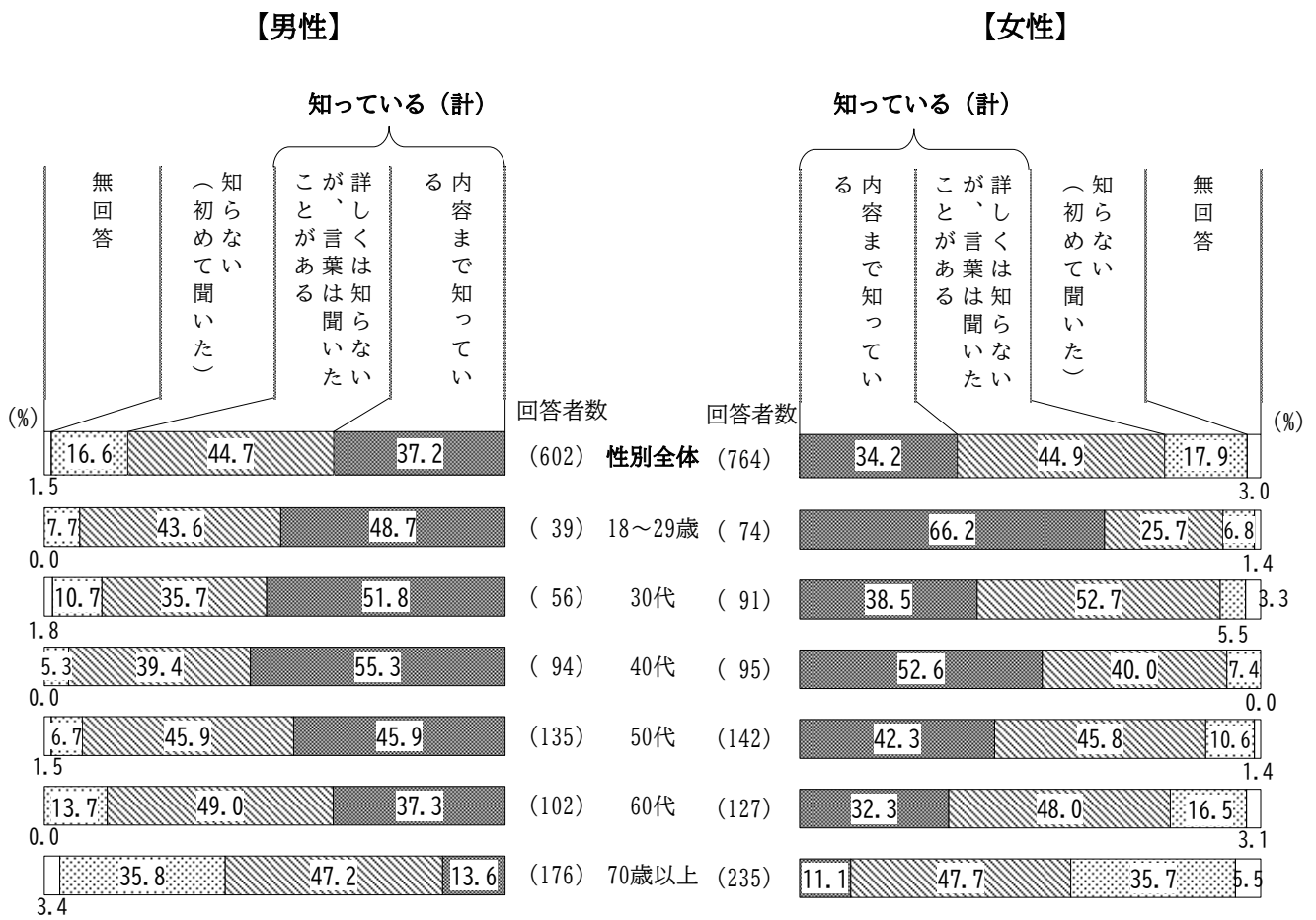


イ クロス集計・性別、性・年代別／「SDGs」の認知状況

(ア) 性別で見ると、「内容まで知っている」は男性（37.2%）の方が女性（34.2%）より3.0ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【知っている】は、男性の40代で94.7%と最も高く、次いで女性の40代（92.6%）となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は男女とも70歳以上で3割台半ばと高くなっている。

図10-1-2 性別、性・年代別／「SDGs」の認知状況



(2) 区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

問42 あなたは、区役所・区民・団体（企業）の協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）が進んでいると感じていますか（例 ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフ、子どもの貧困対策など）（○は1つだけ）。

■【そう思う】が3割台半ば超、【そう思わない】が2割強、「わからない」が4割弱

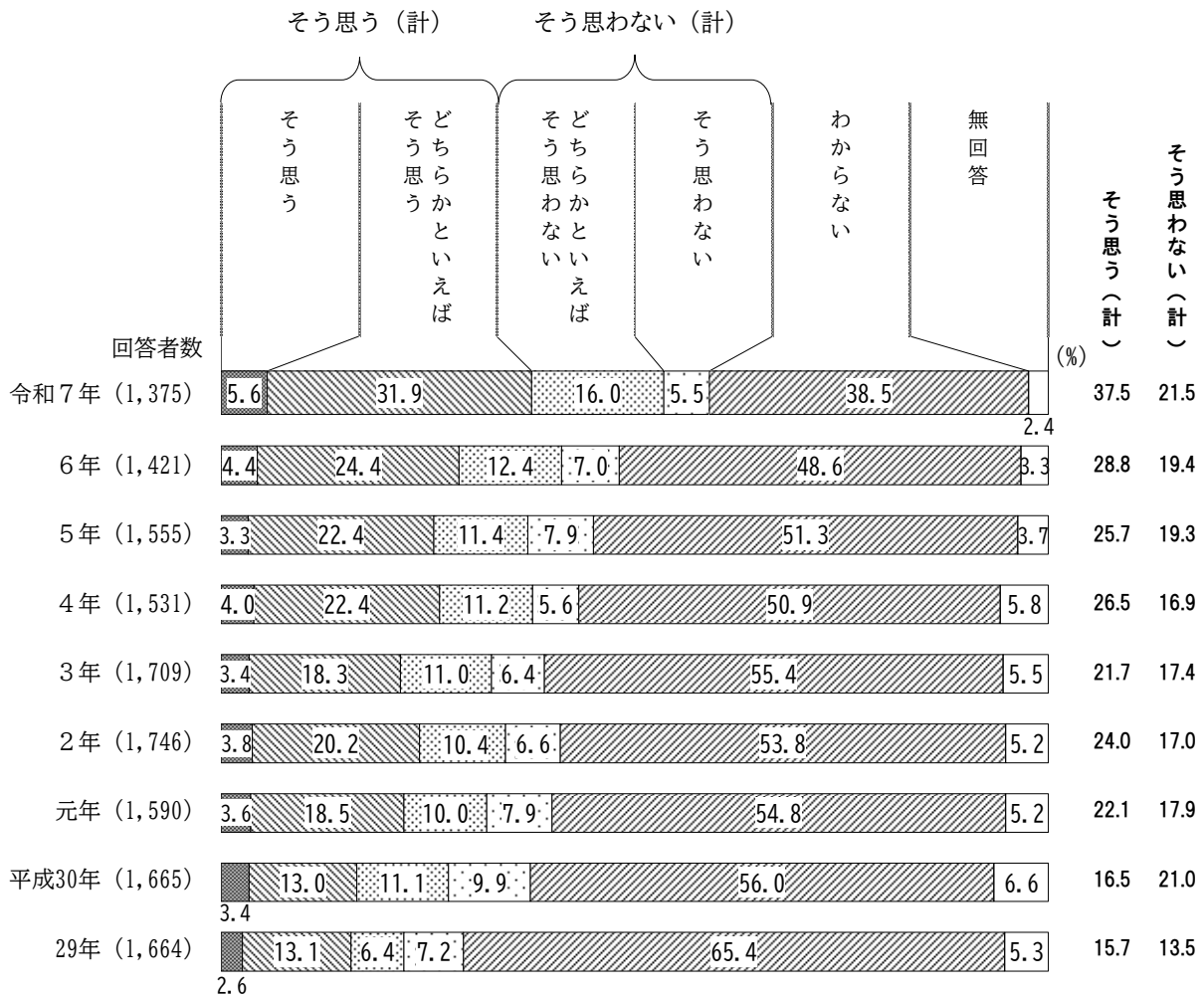
ア 単純集計・経年比較／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

(ア) 協働や協創による事業が進んでいると感じるかについては、「そう思う」が5.6%で、これに「どちらかといえばそう思う」(31.9%)を合わせた【そう思う】は3割台半ば超となっている。

(イ) 「どちらかといえばそう思わない」(16.0%)と「そう思わない」(5.5%)を合わせた【そう思わない】は2割強となっている。一方、「わからない」(38.5%)が最も高くなっている。

(ウ) 前回調査との比較では、【そう思う】が8.7ポイント増加している。

図10-2-1 経年比較／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価



※ 平成30年度の設問文は「あなたは、ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフなど、区役所・区民・団体の協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）による事業が進んでいると感じていますか。」で、令和元年度には設問文の一部表現が変更になるとともに「子どもの貧困対策」が追加された。さらに、令和2年度には設問文の一部が現在の設問文に変更された。

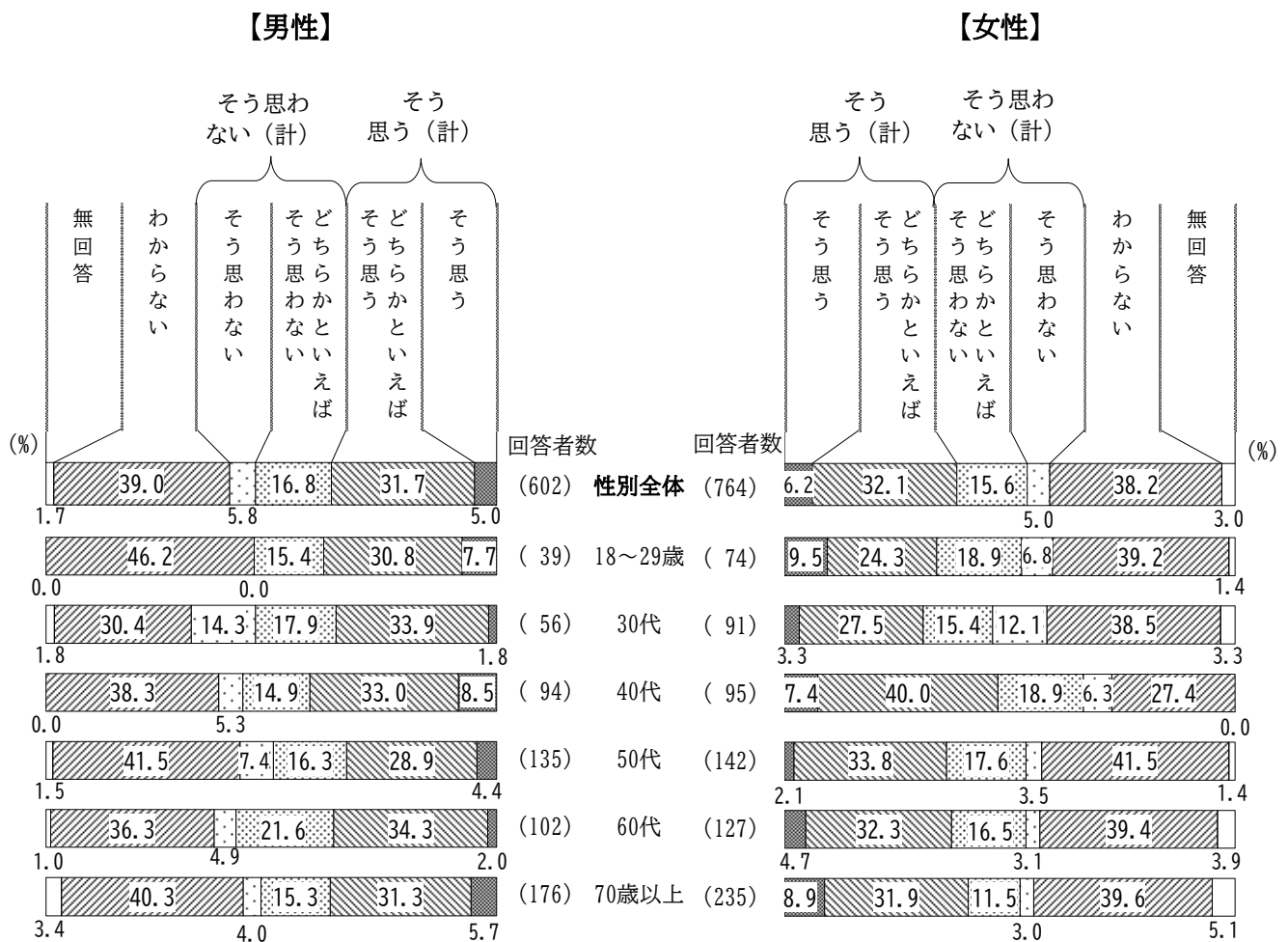
第3章 調査結果の分析（「SDGs」・「協働・協創」）

イ クロス集計・性別、性・年代別／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

（ア）協働や協創による事業が進んでいると感じるかについて、性別では特に大きな違いはみられない。

（イ）性・年代別でみると、【そう思う】は女性の40代で47.4%と最も高く、次いで、男性の40代（41.5%）と女性の70歳以上（40.9%）が4割台で続いている。一方、【そう思わない】は男性の30代が32.1%と最も高く、次いで、女性の30代が27.5%となっている。

図10-2-2 性別、性・年代別／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価



(3) 家族以外の人や地域と関わる自主的な取り組み・活動意向

問43 あなたは、家族以外の人や地域と関わる自主的な取り組み・活動を行ってみたいと思いますか（○は1つだけ）。

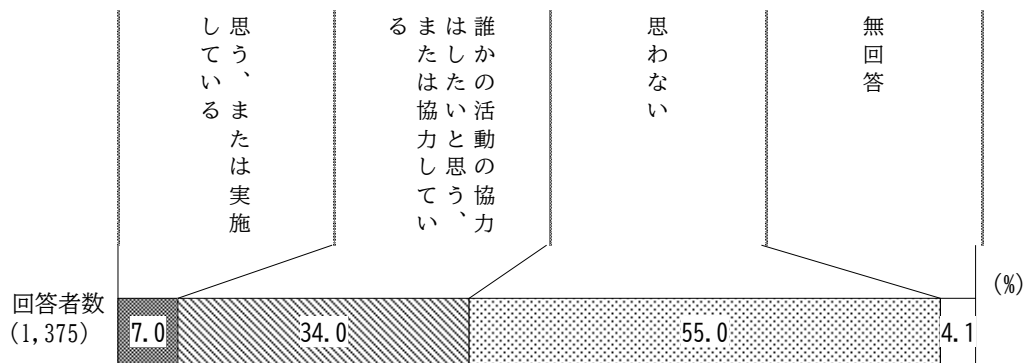
例：マルシェへの出店、子ども向け体験イベント、特技を生かした工作・体操・キャリアの指導など

■「思う、または実施している」が7.0%、「誰かの活動の協力はしたいと思う、または協力している」は34.0%

ア 単純集計／家族以外の人や地域と関わる自主的な取り組み・活動意向

家族以外の人や地域と関わる自主的な取り組み・活動意向について、「思う、または実施している」は7.0%、「誰かの活動の協力はしたいと思う、または協力している」は34.0%となっており、「思わない」が55.0%と過半数を占めている。

図 10-3-1 単純集計／家族以外の人や地域と関わる自主的な取り組み・活動意向



イ クロス集計・地域別／家族以外の人や地域と関わる自主的な取り組み・活動意向

家族以外の人や地域と関わる自主的な取り組み・活動意向を地域別でみると、「思う、または実施している」は、第10地域が11.3%で最も高く、次いで第14地域が9.5%となっている。また、「誰かの活動の協力はしたいと思う、または協力している」は第4地域が40.7%で最も高く、第2地域と第5地域が約4割で続いている。一方、「思わない」は第15地域が63.8%で最も高く、次いで、第12地域と第14地域が6割台半ば近くとなっている。

図 10-3-2 地域別／家族以外の人や地域と関わる自主的な取り組み・活動意向

